

# 「普通」ってなんだろう？ ～性的マイノリティについて考えよう～

## ねらい

性的マイノリティ（資料編P47）に関する人権について、正しい認識をもつとともに、互いを尊重し合うことの大切さについて考えを深めます。また、セクシュアリティ（人間の性に関わる全てのことから）の問題は性的マイノリティだけの問題ではなく、全ての人たちに関わる問題だということを考えます。

◇時間◇	50分	◇人数◇	1グループ4～6人
◇準備物◇	ワークシート①②、資料		

## 展開

◎ 実際に受講者の中にも性的マイノリティの方がいるかもしれないということを考慮し、差別や偏見につながることをないように注意を払いながら進めるようにする。また、P4の「尊重」「参加」「守秘」参照。

- 1 ワークシート①のQ1を基に、自分のセクシュアリティについて考える。

### 【やり方】

- ① 自分自身の「からだの性」「こころの性」「好きになる性」を振り返る。（書いたり、話し合ったりする必要はない）
- ② 参考例を確認する。

- 2 ワークシート②のQ2のメッセージを読んで、自分の考えを記入し、グループで話し合う。（文章を読んだら、資料についても確認する）

### 【やり方】

- ① このメッセージを読んでどのようなことを感じるか、また、もしも自分の子どもや親類のことだとしたらどう思うか、(1)に記入し、話し合う。
- ② 子どもたちにとって、性的マイノリティなどの内容を打ち明けられるような信頼される大人とはどんな人だと思うか、(2)に記入し、話し合う。
- ③ 自由に意見交換をする。
- ④ 全体で発表する。
- ⑤ 資料を使って、メッセージを書いた高校生のセクシュアリティを考える。

- 3 資料を基に言葉を確認する。それから、ワークシート②のQ3について、記入する。その後でファシリテーターの説明を聞く。

### 【説明】

- 「同性に性的な魅力を感じたことがありますか？」という質問に対しては、世界中（日本を含む）で様々な調査がなされていますが、おおよそ人口の3～5%の人が「ある」と回答をしています。世界の割合としては、約3～5%の性的マイノリティの人がいることになります。
  - ・ 20～30人に1人の割合が「同性に魅力を感じたことがある」経験をしていることになります。
  - ・ 佐藤さんと鈴木さんの名字の人を合わせた割合は全人口の3%程度なので、同じくらいの割合になります。
- 国連開発計画が発表したレポート（2012年）では、「トランスジェンダーの存在する割合は300人に1人である」と言われています。
- 日本では、性的マイノリティの割合は全人口の7.6%（13人に1人の割合）との結果を示している民間の研究機関による調査もあります。

- 4 活動についてふりかえりをする。

## ファシリテーターの言葉かけ例

展開1 (P4の「尊重」「参加」「守秘」について確認してから) ワークシート①「普通」ってなんだろう?のQ1を基に、自分のセクシュアリティについて考えてみましょう。セクシュアリティとは、「人間の性に関わる全てのことから」です。ここでは、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」の三つの指標に分けて考えてみましょう。自分のセクシュアリティについて、心の中で丸を付けてみましょう。ワークシートに記入したり、話したりする必要はありません。

参考をご覧ください。(例1から例3を確認する) このように人間の「性の在り方」は「男性」と「女性」に二分できるものではなく、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」など様々な要素が複雑に絡み合い構成されていて個人差があるものです。性は一生の中で揺らぐこともあります。また、決めたくない人もいますので、この3つの側面の組み合わせは無限にあります。まさに人間の性はグラデーションであると言えるのです。

展開2 ワークシート②のQ2をご覧ください。これは、高校生が書いたメッセージです。それでは、メッセージを読みます。(ファシリテーターがメッセージを範読する) このメッセージを読んであなたはどう感じたでしょうか。もしもご自分のお子さんや親類のことだとしたらどう思うでしょうか。また、子どもたちにとって信頼できる大人とはどんな人でしょうか。ワークシートの二つの質問について枠の中に、自分の考えを書いてみましょう。(「資料編P49『LGBTの学校生活における現状』」よりも参考にできます)

(少し時間を取ってから) それでは、グループで話し合ってみましょう。まずは、(1)について自由に話し合しましょう。次に(2)について、一人ずつ意見を発表しながら、話し合ってみましょう。(時間によって、自由に意見交換をしてもらう。その後、数人の方に発表してもらう。)

(資料を配布する) このメッセージを書いた高校生のセクシュアリティについて考えてみましょう。このメッセージからすると、「男の子みたいだね。」と言われてしまうことから、「からだの性」は女性です。「こころの性」は「やっぱり女の子だね。」と言われてしまうことから、自分では男性と思っていることがわかります。ただ、「好きになる性」について、男性か女性か、それともどちらも好きなのか、このメッセージだけでは確認できません。

展開3 (資料の言葉を確認してから) LGBTの割合は、世界的に見て人口のおよそ何パーセントだと思いますか、ワークシート②のQ3に記入しましょう。

(少し時間を取ってから) LGBTの割合はおよそ3~5%と言われています。(展開のページに掲載の枠内の説明を行う)

(説明後) ワークシート①でも確認したように、「性の在り方」には個人差があり、単純に「男性」と「女性」に2分できるものではありません。また、それは一生の中でゆらぎ、変わっていくこともあって、不確定なものと言えます。だから、調査による割合などの数字はあくまで参考であり、その数字だけでは図ることができない面もあるということを知っておく必要があります。

展開4 今日の活動のふりかえりをしましょう。活動をとおして、感じたこと、気付いたこと、そして今後、生かせることなど、感想や意見を発表しましょう。(数名の方に発表してもらう)

あなたは「男」ですか、「女」ですか、それとも、そのどちらでもないと思うことはありますか。あなたが「普通」だと思っていたことは実は普通ではなくて、人を好きになるということは単に「男」が「女」を、あるいは「女」が「男」を好きになることだけではないのかもしれませんが、「性の在り方」に当てはまらない少数の立場にある人たちは、総称して「性的マイノリティ」と言われます。戸籍上の「男」あるいは「女」に戸惑いを感じながら生きている人がいるということ、それは個性であり、全ての性的マイノリティの人々の身体や性別、性指向のあり様を尊重することが大切なのではないのでしょうか。

## 「普通」ってなんだろう？

Q1 「性の三つの指標」に心の中で○をつけて、自分のセクシュアリティ（人間の性に関わる全てのことがら）を考えてみましょう。

	女	男
からだの性 (身体的性)		
こころの性 (性別自認)		
好きになる性 (性指向)		

(書いたり、話し合ったりする必要はありません。)

あなたは三つの指標のどこに○をつけましたか。心の中でふりかえてみましょう。



### 【参考】人間の「性の在り方」は多様

《例1》

	女	男
からだの性 (身体的性)	○	
こころの性 (性別自認)	○	
好きになる性 (性指向)	○	

《例1》  
身体は女性で、自分は女性であると思っています。  
女性に対して性的魅力を感じています。

《例2》

	女	男
からだの性 (身体的性)		○
こころの性 (性別自認)	○	
好きになる性 (性指向)		○

《例2》  
身体は男性ですが、自分は女性であると思っています。  
女性として、男性に対して性的魅力を感じています。

《例3》

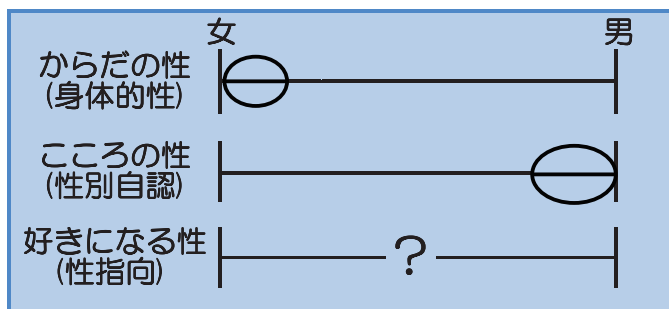
	女	男
からだの性 (身体的性)	○	
こころの性 (性別自認)	○	
好きになる性 (性指向)	○	○

《例3》  
身体は女性で、自分は女性であると思っています。  
主に女性に対して性的魅力を感じますが、男性にも性的魅力を感じることもあり、性別によらないこともあります。



## 「普通」ってなんだろう？

◎ Q2 のメッセージを書いた高校生のセクシュアリティを考えてみましょう。



身体は女性ですが、自分は男性であると思っています。

この事例だけでは、男性に対して性的魅力を感じているか、女性に性的魅力を感じているのかわかりません。

○ 「これが普通」「こうあるべき」と思われている「性の在り方」に当てはまらない少数の立場にある人たちは、総称して「性的マイノリティ」といわれます。

LGBT…下記の4つの言葉の略。性的マイノリティをLGBTと呼ぶこともあります。

(L) レズビアン

女性の同性愛者。女性を恋愛対象としたり、女性に性的魅力を感じたりする女性。

(G) ゲイ

男性の同性愛者。男性を恋愛対象としたり、男性に性的魅力を感じたりする男性。

(B) バイセクシャル

両性愛者。男性、女性の両性を恋愛対象としたり、両性に性的魅力を感じたりする人。

(T) トランスジェンダー

自分の生まれ持った身体の性に違和感がある人。

異性愛者…異性を恋愛対象としたり、異性に性的魅力を感じたりする人。

同性愛者…同性を恋愛対象としたり、同性に性的魅力を感じたりする人。

性的指向…どの性別を恋愛、性的魅力の対象とするか。

狭くとらえて「セクシュアリティ」ということもある。

カミングアウト…自分の性的指向等を誰かに伝えること。

「クローゼットの中から外に出る」が語源。

